

日独 ジョイント レクチャー (*)

「21 世紀における教育の問題とは: 教育の質を学校の表層と深層から考える」

ハイデルベルク大学 教育学部 アンネ スリヴカ 教授

今般、ハイデルベルク大学のアンネ スリヴカ 教授をドイツから迎え、下記のとおりレクチャーを開催します。

世界各国での調査・研究において、21 世紀の教育体系は抜本的に改変されるべきと指摘されている。デジタル革命や、研究で得られた人間のモチベーションやフィードバックの意味に関する新しい知見は、教員中心の構造と、生徒中心になってアクティブに参加する学習過程とを、あらためてリンクさせる必要性を示している。これら「ディープラーニング」の新しいアプローチは、数々の問いを提示している。今回のレクチャーでは現代 21 世紀の学校開発を分析し、生徒が 21 世紀を個人的にも職業的にもより良く生きてゆくのに必要な認知力、メタ認知力や社会情動力を発達させるため、イノベーティブな学習環境の「深層構造」を補強する必要性を論じたい。

どなたでもご参加いただけますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。なお、レクチャーは日本語で行われます。

記日時： 2018 年 02 月 06 日 (火)
18:15~19:45 (受付 18:00~)

会場： 京都大学吉田国際交流会館 1 階南講義室 (吉田南構内)

スケジュール

18:15 開会挨拶

18:20 レクチャー

ハイデルベルク大学 教育学部 アンネ スリヴカ 教授

「Worauf kommt es beim Lernen im 21. Jahrhundert an: Von der Oberfläche zu den Tiefenstrukturen von Bildungsqualität an Schulen」

「21 世紀における教育の問題とは: 教育の質を学校の表層と深層から考える」

(ドイツ語と日本語の学生逐次通訳)

19:00 解説

京都大学 石井 英真 准教授（解説）

19:20 質疑応答、ディスカッション

19:45 レセプション（於：ハイデルベルク大学京都オフィス）

20:30 閉会

司会進行： サビーネ シェンク（ハイデルベルク大学 京都オフィス）
鮎川 慧（京都大学 学術研究支援室）

以上

(*)日独ジョイントレクチャーは、相互にオフィスを持つハイデルベルク大学と京都大学が両大学の学術交流の深化と発展を記として不定期に開催されるものです。

参加申込は、02月01日（木）までに氏名、所属機関を記載の上、以下のメールアドレス宛ご連絡ください。

参加登録・問合せ先：

ハイデルベルク大学京都オフィス（HUOK）

メール：info@huok.uni-heidelberg.de

電話： 075-753-5413

講師プロフィール

アンネ スリヴカ 教授

ドイツ ハイデルベルク大学の教育学教授。イギリス オックスフォード大学でローズ奨学制度奨学生として Ph.D.を取得する。生徒のモチベーションを向上させるための学校開発を専門分野とする。EU 及び経済協力開発機構において、教員の専門的技術、教育環境のイノベーション、形成的評価に関する研究共著がある。

<http://www.ibw.uni-heidelberg.de/staff/sliwka.html>（ドイツ語&英語）

石井 英真 准教授

日米のカリキュラム研究、授業研究の蓄積に学びながら、学校で保障すべき学力の中身とその形成の方法論について理論的・実践的に研究している。特に、授業を硬直化させるのではなく、むしろ柔軟で創造的なものにするような、目標の明確化とそれに基づく評価のあり方について考えている。主な著書に『現代アメリカにおける学力形成論の展開』（単著・東信堂）、『今求められる学力と学びとは』（単著・日本標準）などがある。

<https://kyouindb.iimc.kyoto-u.ac.jp/j/xP5il>